

# Istanbul Weekly vol.6-no.2

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2017年1月20日（金）

### — 今週のポイント —

**政治**：憲法改正案、審議の第1ラウンド終了、第2ラウンドへ。  
キプロス問題を巡る5者会合の交渉状況。

**経済**：2016年10月の失業率、11.8%に上昇。  
2016年の財政赤字、78億ドル。

石井国交大臣がトルコを訪問、チャナッカレ大橋の入札関連仕様書を24社が購入。

**治安**：オルタキョイ・ナイトクラブ・テロの続報。  
トルコ海軍艦船の70%がクーデター未遂に参画。

**軍事**：ロシアとトルコ、初の共同空爆作戦をISILに対して実施。

**社会**：イスタンブールの19地区の5万棟が居住危険地区に指定。  
15年間で1億900万人の外国人観光客がイスタンブールを訪問。

### 政治

#### 【内政】

●**憲法改正案、審議の第1ラウンド終了、第2ラウンドへ**  
(1)15日、憲法改正案の各条項に対する審議の第1ラウンドが終了し、全18条項が与党AKP及びMHPの賛成多数で通過した。13日から15日の間に通過した各条項には、大統領の弾劾に関する規定（第9項）、大統領による議院解散権に関する規定（第11項）、大統領の予算案の提出に関する規定（第15項）、大統領選挙及び次回総選挙を2019年11月3日に規定する旨の規定（第17項）などが含まれる。（1月15日付H紙インターネット版他）

(2)18日、憲法改正案の各条項に対する第2ラウンドが開始された。同ラウンドでは、第1ラウンドで通過した条項の修正動議等が議論される見込みで、18日の一日で、全18条項の内、7条項までが賛成多数で成立した。本審議は21日頃まで続く見込みで、最終的に可決された全条項に対する一括投票が行われる。大統領の承認プロセスを経て、国民投票は、早ければ3月26日、遅くとも4月16日までに行われる。（1月18日付M紙インターネット版他）

●**クルトゥルムシュ副首相、国民投票の時期の見通しについて言及**

16日、クルトゥルムシュ副首相は、憲法改正に関する審議が現在のペースで進んだ場合、「国民投票は4月2日又は9日に開催される」と述べた。また、憲法改正で規定される2019年11月以前に早期総選挙が行われるとの観測が浮上していることについては、多くの課題がある中、早期総選挙はあり得ないと否定した。（1月17日付C紙17面他）

●**デミルタシュ HDP 共同党首に最長142年の禁固刑を求刑**  
17日、ディヤルバクル県検察は、デミルタシュ HDP 党首に

対し、PKK への関与や、テロ及び暴力を正当化するプロパガンダ等を行ったとして、刑法、テロ対策法等への違反を理由に、最長43年、最長142年の禁固刑を求刑した。また、ユクセキダー共同党首に対しても最長30年、最長83年の禁固刑を求刑した。（1月18日付M紙1面）

#### 【外交】

●**キプロス問題を巡る5者会合の交渉状況**

(1)12日、ジュネーブにおいて、トルコ系キプロス、キプロスの代表、保証国3か国の外相（トルコ、ギリシャ、英国）による5者会合が開催された。グテーレス国連事務総長は、長年に渡る南北分断問題の解決に向けて忍耐強く交渉し、「連邦国家」成立の合意に期待を寄せた。トルコ側は、実効支配している土地の一部返還を含む和平案を提示した。（1月13日付M紙インターネット版）

(2)18日から、5者会合に引き続いてワーキンググループが開催されたが、両系代表ともに双方が示した連邦国家の「地図」について「受け入れられない」と表明した。チャヴシュオール外相も「ギリシャ側が提示した地図は受け入れられない」と述べた他、トルコ側は、ギリシャ側が交渉途上の内容を対外的に漏えいしたとして強く批判するなど、今般の交渉では両系の合意には至らなかった。（1月17日付M紙1面）

### 経済

#### 【マクロ経済】

●**トルコのM&Aの件数、縮小**

EY社のレポートによると、2016年のトルコの企業のM&A件数は、治安への懸念と経済情勢を反映して2009年以降最低レベルの70億ドルへと約半減した。（1月13日付HDN紙10面）

### ●2016年10月の失業率は11.8%に上昇

2016年10月の失業率は、前年同月比1.3%上昇し11.8%。2010年3月以来最高となった。15-24歳の失業率は同1.9%上昇し21.2%（1月17日付HDN紙1、10面）

### ●2016年の財政赤字は78億ドル

2016年のトルコの財政赤字は、当初予想より1億1400万ドル少ない78億ドル。GDPの1%に相当する。歳入は前年比14.8%増加し1480億ドル、歳出額は、同15.3%増加し1556億ドル。医療、年金、福祉関連に対する政府支出は前年比33.3%増加し285億ドルであった。（1月17日付HDN紙10面）

#### 【経済政策】

### ●外国人投資家に市民権を付与

12日付の官報によると、トルコは100万ドル以上の不動産を購入し3年以上所有している外国人及び200万ドル以上の投資を行うか、または3年以上300万ドル以上を銀行口座に預けている外国人に対し、市民権を付与する予定。（1月13日付HDN紙10面）

### ●トルコの2番目の海上空港、間もなく着工

アルスラン運輸海事通信相は、黒海の人工島に建設中の海上空港に関する入札結果が15日以内に発表される予定であると述べた。4月までに着工予定。同空港は、2015年に開港したオルドゥ・ギレスン空港に続き2番目の海上空港となる。（1月16日付HDN紙10面）

### ●EUとの関税同盟改定は農業部門を一変させる

ゼイベキジ経済大臣は、EUとの関税同盟改定は、トルコの農業部門に相当前向きな変化をもたらすであろうと述べた。同大臣によると、最善のシナリオでは、EUとの関税同盟改定がトルコのGDPを2030年までに2%押し上げる効果がある。（1月16日付HDN紙1、10面）

### ●73,584人の外国人に労働許可証

2016年、労働社会保障省は、73,584人の外国人に労働許可証を交付した。申請者数は86,467人。国別では、シリアの13,928人が最多で、他はジョージア（7,635人）、ウクライナ（5,593人）、中国（3,474人）等が続く。（1月19日付HDN紙10面）

#### 【企業等の動き】

### ●TUSIAD、ピレジック氏を新会長に選任

12日、トルコ実業家起業家協会（TUSIAD）は、第47回年次総会を開催し、エロール・ピレジック氏（55歳）を新会長に任命した。同会長は、インデックスコンピュータ社の設立者。同社は、トルコで最も古く主要なIT企業の一つで、インデックスグループ全体では、現在600人以上を雇用している。（1月12日付DAILY SABAH紙インターネット版他）



（写真は1月12日付CNNTurkインターネット版から）

### ●中国銀行、トルコで預金銀行設立へ

13日、銀行規制監督庁は、中国銀行は3億ドルの投資を通

じて預金銀行をトルコで営業開始するための許可を受けたと述べた。同行は払込資本金を払い込み、間もなく営業開始を当局に申請する見込み。同行は、世界7位、中国で3位の銀行で、2011年にトルコに駐在員事務所を設立し、2015年には商業銀行設立のための準備を開始していた。トルコに参入する中国の銀行としては、中国工商銀行に続いて2番目となる。（1月16日付HDN紙10面）

### ●石井国交大臣がトルコを訪問、チャナッカレ大橋の入札関連仕様書を24社が購入

18日、石井国交大臣とアルスラン運輸海事通信大臣との会談が行われた。アルスラン大臣は、昨年クーデター未遂事件以降のトルコへの支援に対し感謝を述べるとともに、トルコと日本は、第2ボスポラス大橋、マルマライ、イズミット大橋等多数のプロジェクトを協力して成功させてきたと言及。また、今後建設予定のチャナッカレ大橋に対して日本企業が関心を寄せていることは幸いであると述べた。同大臣によると、同橋の入札書類を24社が購入。うち、日本企業が4社、中国企業が3社、韓国企業が2社、イタリア企業が1社。（1月19日付HDN紙10面）



（写真は1月19日付HDN紙インターネット版から）

#### 【その他】

### ●フィッチ、トルコ格付け引き下げ見込み

格付大手フィッチのアナリスト・マコーマック氏は、ロンドンで行われた会議で、同社がトルコの投資適格信用等级付けを引き下げることがあると述べた。同社は27日にトルコのソブリン格付け及び見通しを修正する見込み。（1月13日付DAILY SABAH紙インターネット版他）

## 治安

#### 【ISIL関連】

### ●元旦オルタキョイのナイトクラブで銃乱射テロ（続報）

（1）12日、ISILの関連メディアのナバ通信は、本件事件について、背教者のみが標的とされるべき攻撃なのにイスラム教徒が多数殺されたとの批判に答えて、「イスタンブールでの攻撃は、背教者達の場所で背教者らの祝日に背教者達を標的にし、多くの背教者と不信者を殺傷した。この攻撃で、ムスリムだと名乗る人々が殺されたとすれば、それは、彼ら自身が、背教者に近い行為を行い、背教者達から区別できないほど彼らに紛れることによって、彼ら自身が招いた死である。よって彼らの血を流すことは許容される。」などと主張している。（1月13日付ジャーネイスインターネット版）

（2）13日、中国籍のウイグル人の男2名が同事件に関連して拘束された。拘束されたのは、オマル・アスムとアブリエジ・アブドゥルハミットで、テロ組織の構成員である容疑と無許可銃器購入の容疑。（1月14日付HDN紙インターネット版）

（3）17日午前0時頃、イスタンブール市エセンユルト区に所在するアパートに対するオペレーションの結果、本件実

行犯のアブドゥルカディル・マシャリポフが発見・拘束された。

警察官が部屋に突入した際、マシャリポフはベッドの下に隠れようとし、さらにトルコ語で「殺さないでくれ」と叫んだ。

マシャリポフと同じ部屋にいた、キルギス人の男1名と女性3名も拘束された。

同部屋からは、19万7000ドルの現金も見つかり、ISILからマシャリポフに与えられたものと見られている。(1月17日付HT紙16面)



(写真は1月19日付ポスタインターネット版から)

(4) 本事件の詳細が明らかになりつつあり、昨年12月31日夜、マシャリポフはラッカにいるISILの司令官から「今夜タクシム広場でテロを実行せよ」との指示を受けた。しかし、マシャリポフがタクシム広場に行ったところ、警備が厳重だったため断念し、その後午後9時30分、再度ラッカからナイトクラブ「レイナ」を狙えとの指示が来た。同人が「レイナ」に下見に行ったところ、警察の数が少なかったため実行可能と判断し、一度ゼイティンブルヌ区に武器を取りに戻り、それから改めて「レイナ」に向かいテロを実行した。

(1月19日付HT紙インターネット版)

(5) マシャリポフと同じ部屋にいた女性3名は、ISILがマシャリポフに対して“プレゼント”として送ったことが判明した。マシャリポフはその中からセネガル人の女性を選び、イスラム式の結婚式で結婚していたことが判明した。

(1月19日付HT紙インターネット版)



(写真は1月19日付ブルジョアインターネット版から)

#### ●シリア国境の管理強化の状況

14日、トルコ当局は、昨年1年間にシリア国境沿いの330キロに壁を建設し、191キロのフェンスを補強したと発表した。また、同年に74カ国から42万5000人がトルコ国境を違法に越えようとして拘束された。その内の39万人はシリアからであった。

昨年8月から12月にかけて、68名のISIL外国人戦闘員がISILに参加するためトルコ国境を越えようとしたが、この数字は、2015年の同期間比では、約7分の1の数に減少したものとなっている。(1月15日付HDN紙インターネット版)

#### ●昨年末にイスタンブールで多数のISIL爆弾テロ犯が拘束

イスタンブール県警テロ対策課は、昨年12月24日、対ISILオペレーションを実施し、外国人4名を含む48名を拘束した。その後の捜査で、15名が年越しの夜に自爆テロを実行する準備をしていたことが明らかになった。(1月19日付HT紙14面)

#### ●ブルサでISILオペレーション

18日、警察は、ブルサ県内7カ所において対ISILオペレーションを実施し、イスタンブールのナイトクラブ襲撃テロに関係するとみられるウズベク人、キルギス人などISIL関係者27名と未成年者29名を拘束した。(1月19日付HT紙14面)

#### 【PKK関連】

#### ●カイセリの軍送迎バスに対するテロに関して軍人5名拘束

昨年12月に、カイセリ県で発生した軍の送迎バスに対するTAKIによる車両自爆テロに関して、23名の疑者が拘束、その内5名は軍人であった。軍人疑者は、テロリストに送迎バスの運行時刻を漏らした疑いがもたれている。(1月13日付HT紙14面)

#### ●ディヤルバクルで、路肩爆弾で警察官3名死亡

16日、ディヤルバクル県ディジレ大学の近くで、通行中の警察装甲車の側でリモートコントロール式路肩爆弾が発射し、警察官3名が死亡、2名が重傷を負った。同爆発で、付近の公共バスや通行中の車両等も被害を受けた。(1月17日付HT紙13面)



(写真は1月17日付ディリーメールインターネット版から)

#### 【FETO関連】

#### ●トルコ海軍艦船の70%がクーデター未遂に参画

アンカラ検察庁の捜査によると、クーデター未遂事件の際に、トルコ軍艦船の70%がクーデターの行動で何らかの役割を果たしていた。また、72名の海軍関係の被告に対する起訴状において、イスタンブールやメルシン等の軍港に属するトルコ軍艦船29隻が、クーデターの動きが最初に指令部に知らされる20分前である午後9時に動き始めていた。72名の内71名に対しては、終身刑が求刑された。(1月15日HDN紙インターネット版)

#### ●ジャーナリスト29名の捜査が終了

FETOとの関係で逮捕されていたジャーナリスト29名に対する捜査が終了し、検察官は、著名なジャーナリストのセッド・セファに対して終身刑、アティラ・タスとブスラ・エルダルに対して禁固10年を求刑した。(1月19日付HT紙14面)

#### ●軍関係者243名がバイロック使用で拘束

FETOメンバーが使用していた通信アプリ「バイロック」の捜査において、軍関係者243名がバイロックを使用していた容疑で拘束された。(1月19日付HT紙15面)

## 【その他】

●**トルコ貨物航空がキルギスタンで墜落し、32名が死亡**  
16日、トルコの航空貨物企業であるACT航空所有の香港発イスタンブール行きボーイング747-400F型貨物飛行機が、悪天候のためキルギス共和国のマナス空港に着陸しようとして失敗、住宅地区に墜落して住民ら少なくとも32名が死亡した。(1月16日付HDN紙インターネット版)



(写真は1月17日付Sondakikaインターネット版から)

●**イズミルでDHKP-Cのエゲ地方リーダー拘束**  
17日、イズミル県で、極左組織DHKP-Cのエゲ地方のリーダーが拘束された。DHKP-Cは、PKKやISIL等の他の組織と比べて影響力は低いとされるが、依然としてトルコの治安の脅威であり続けており、2013年にはアンカラで米国大使館を攻撃しトルコ人警備員1名を殺害し、2015年3月にはイスタンブールの裁判所で検察官を殺害している。(1月18日付S紙インターネット版)

●**対DHKP-Cオペレーションで自爆テロリスト要員を拘束か**

18日、イスタンブール市のオクメイダヌ地区で行われた対DHKP-Cオペレーションにおいて、5名が拘束された。その中には、自爆テロリスト要員が含まれていたという。(1月19日付HT紙15面)

## 軍事

●**ロシアとトルコが、シリアで初の共同空爆作戦をISILに実施**

18日、ロシア空軍機とトルコ空軍機がISIL支配下のアル・パーブに対して、初の共同作戦による空爆を実施した。ロシアの作戦司令官は、Su24s等ロシア軍機9機とF16等のトルコ軍機8機がシリアでの共同空爆に参加したと発表した。(1月19日付HT紙12面)

## 社会

●**2016年、イスタンブールで1日に6000件の交通違反が摘発**

イスタンブール警察が発表した統計資料によると、2016年の1年間で合計229万4188件の交通違反が摘発され、1日あたり平均6285件の違反が摘発された事が明らかになった。違反金は1日あたり平均109万4248リラにのぼり、最も件数が多いものは駐車違反だった。(1月13日付M紙インターネット版)

●**アヤソフィア博物館の修復作業は今後10年間継続される予定**

アヤソフィア博物館では、2013年にドーム下の壁と半ドームの補修が必要となり、現在も修復作業が続いている。専門家によると今後10年間は修復作業が継続される予定で、ドームの修復に伴って漆喰の下から新たな天井画が発見されることも期待されている。(1月13日付H紙5面他)



(写真は1月12日付H紙インターネット版から)

●**チャナッカレで61回の地震が発生**

首相府の発表によると、14日午後16:52頃、チャナッカレのアイヴァジュック区で震度2.7の地震が発生した。その後、15日12:09頃までに震度2.1から4.6に亘る地震が計60回発生した。なお、この地震による被害は確認されていない。(1月15日付CNNTURKインターネット版他)

●**国家教育省が新たな教育カリキュラムの草案を発表**

ユルマズ国家教育大臣は、教育プログラムの見直しに関する会議で、53の新教育プログラムの草案を発表した。新カリキュラムは2017年9月から第1、第5及び第9学年で運用が開始される。新カリキュラムでは、「7月15日民主主義の勝利」等が新たに追加される。(1月16日付HDN紙2面他)

●**イスタンブールの19地区の5万棟が居住危険地区に指定**

13日16:40頃、ゼイティンブルヌ地区で2015年から空き家となっていた6階建ての建物が倒壊し、下敷きとなった市民2人が死亡、17人が怪我をした。1993年に建築されたこの建物には56世帯が入居していたが、2015年12月に避難指示が出て空き家となっていたが、その後取り壊されなかったままとなっていた。14日、都市開発に関する会議に出席したオズハセキ環境都市大臣は、イスタンブールの19地区5万棟、1300万㎡の土地・建物が危険地区に指定されており、現在も25万人が居住している事を明らかにし、地震による倒壊が危ぶまれている。(1月16日付HT紙17面他)



(写真は1月13日付H紙インターネット版から)

●**イスティクラール通りのトラムヴァイ(路面電車)が一時的に運行休止**

イスティクラール通りの道路舗装とトラムヴァイの線路の取替工事のため、26年間運行を続けてきたトラムヴァイが一時的に運行を休止した。タクシム-ガラタサライ高校間(1167米)、ガラタサライ高校-チュネル間(703米)で線路が新替される予定で、工事は19日から3月15日の02:00から11:00の間行われる。工事期間中は歩道と車両

の通行には影響がでない予定。

(1月17日付HT紙18面他)

●15年間で1億900万人の外国人観光客がイスタンブールを訪問

トルコ統計庁の発表によると、過去15年間で1億900万人の外国人観光客がイスタンブールを訪問した。2000年以降徐々に増加した外国人観光客数は、2015年には1184万人となり、記録を更新した一方、2016年はおよそ260万人減少し、920万人となった。2016年の外国人観光客の内、ドイツ人観光客が100万人でトップであった。続いてイラン、サウジアラビア、英国、フランス、米国、ロシアの順。2016における外国人観光客の数は、7月に最も増加し、11月に最も減少した。(1月18日付HT紙19面他)

●旧市街地区で災難続きの一日

18日朝、エジプシャン・バザールの屋根にある発電機から火災が発生した。火は消防隊による活動の後、間もなく鎮火した。火災発生からしばらくして、今度は旧市街地区のゲディックパシャ通りにある空き家が倒壊した。火災及び倒壊による怪我人等は発生しなかった。更に同日、グラント・バザールで停電が発生し、各商店はろうそくを灯し、携帯電話の明かりを頼りに営業を続けた。グラント・バザールの停電は昨年12月にも発生しており、店主は停電の原因究明を求めている。(1月19日付HT紙21面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TIKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKI	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
IHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜYİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp  
 WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。  
[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2017.1.1～2016.1.19 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2016年		7件		2件		24件		2件
2017年	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

●今週は、被害の届け出はありませんでした。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 治安速報：イズミル市におけるテロ事件の発生〔2〕(01/05) **NEW**
- イズミル日本語弁論大会参加者募集のお知らせ（日本イズミル文化友好協会 HP）(1/11) **NEW**
- 第26回イスタンブール日本語弁論大会参加者募集のお知らせ（12/20） **NEW**

※掲載内容は、トルコの報道をまとめたものです。